

| | | | |
|---|--|------------------|-----------|
| 科目名 | | 職業性中毒学実習 | |
| 科目責任者 | | 上野 晋 (職業性中毒学 教授) | |
| 開講時期: | 2～4年次 | 単位数: | 6 単位 |
| | | 時間数: | 90分× 90 回 |
| <p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>化学物質の特定標的臓器毒性の中でも神経毒性、心毒性に焦点を当てて、その毒性を培養細胞を用いたin vitro系ならびに動物を用いたin vivo系で評価し、毒性の科学的根拠となるエビデンスを獲得する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 実験動物、そして遺伝子操作に関する申請書類を作成することができる。 2) 細胞毒性を培養細胞を用いた生化学的手法により評価することができる。 3) 細胞毒性を培養細胞を用いた分子生物学的手法により評価することができる。 4) 実験動物に対して苦痛を与えることなく化学物質を投与することができる。 5) 実験動物における神経行動を評価することができる。 6) 実験動物における心機能を評価することができる。 7) in vitro系で得られた結果とin vivo系で得られた結果との相関関係を考察することができる。 8) 毒性発現に関与する分子機序をモデル化することができる。 | | | |
| ● 評価方法 | 検討会でのプレゼンテーション内容40%、討議への参加度30%、課題レポート等30%等で総合評価する。 | | |
| ● 参考文献 | 実習の中で必要に応じ紹介する。 | | |